



和歌山県立田辺工業高等学校 保健室 2021年12月号 (Vol.17)

明日から12月、師走に入ります。そして、期末考査が始まります。

11月半ば過ぎから、咽頭痛や鼻水、咳といったかぜ症状の人が増えてきました。 今年の今頃よりもかぜ症状のひが多いように感じます。

手洗い、マスクの着用をはじめ、免疫を落とさない生活を送ることなど継続して行うことで感染症を予防することができます。再度自分の行動や生活を見直してみてください。

今、新型コロナウイルス感染症は全国的に少なくなっていますが、世界に目を向ければ感染爆発を起こしている国や新たな変異ウイルスが見つかった国があり、全く安心できる状態ではありません。なお一層の予防対策をお願いします。

まだまだ続けよう！ 感染予防対策

こまめな手洗い



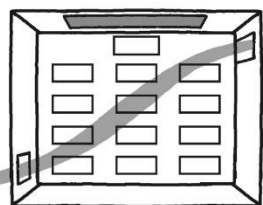
30秒くらいかけて丁寧に洗い、最後に清潔なタオル等で水気を拭き取ります。外から教室に入るときや給食(昼食)の前後、共有の物を使ったとき等、こまめに洗うことが大切です。

密接場面でのマスク着用



距離がとれないときはマスクをつけ、マスクなしでの会話は控えます。また、正しくつけないと意味がないので、鼻と口をしっかりと覆い、顔との間にすきまができないよう注意しましょう。

換気の徹底



2方向(対角線上)の窓等を開けると効果的です。常に窓を少し開けておくとういですが、気候上難しいときは30分に1回以上、少なくとも休み時間ごとに、数分程度、教室の窓を全開にしてください。

お願い

スポーツ振興センター災害共済給付にかかる書類(「医療等の状況」や「委任状」など)をまだ提出していない人は、できあがり次第保健室に提出をお願いします。初回申請には2年間の期限があるほか、提出が遅れると給付も遅れます。分からないことがあれば保健室に聞きに来てください。

12月1日は「世界エイズデー」

「世界エイズデー」は、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO(世界保健機関)が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

令和3年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマ

レッドリボン30周年 ~ Think Together Again ~



エイズが世界的な問題になりつつあった30年前。ニューヨークの芸術家たちが、エイズで亡くなった仲間への追悼と、エイズに苦しむ人々への理解・支援の意思を表明するために運動を始めました。そのときのシンボルが「レッドリボン」です。

30年の間に治療法は進歩し、早期開始すればHIVに感染していない人と同等の生活

を期待できるようになりました。けれど現状はそうした正確な情報が十分に伝わっているとは言えません。

レッドリボンに宿る意味を原点に立ち返って考え、HIV検査の受検促進や差別・偏見の解消を願うのが、このキャンペーンテーマ。「レッドリボン」に込められた思いは今も変わりません。

きちんと知ろう エイズのこと



Q エイズって何？

A HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染することによって起こる病気。でも、HIV感染=エイズではありません。適切な治療で、エイズ発症を予防できます。

Q どうやって感染するの？

A 性行為による感染、血液を介した感染、母子感染などです。一緒に食事をする、タオルを共有する、同じトイレを使うなど日常生活の中では感染しません。

Q 感染の心配があるときは？

A 保健所や病院などで検査が受けられます。保健所では、名前や住所を知らせず、無料で検査できます。予約が必要な場合もあるので、事前に確認を。